

【基本施策】

3 1. 円滑で安全な道路網を整備する

【基本方針】

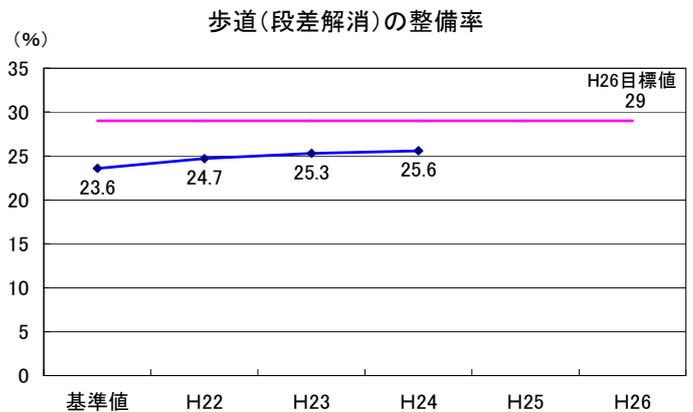
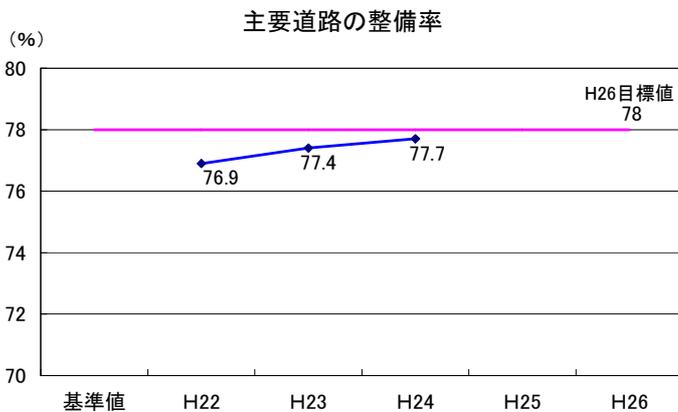
市民の生活向上や広域観光による地域の活性化を図るため、南北方向の道路整備については、西部地区の幹線道路となっている県道福井朝日武生線の狭小部の解消や東部地区における県道福井今立線の新戸ロトンネルの整備などを県と一体となって進めます。また、東西方向については、現在進められている鯖江美山線の第一新出踏切の工事の進捗を図るとともに、都市計画道路の見直しを含め、踏切の改良などを県と協力して進めます。

また、市街地では、学校・病院・文化施設も多く、安心して快適に歩行ができるように、歩道の段差解消を図るなどの整備を行います。道路幅員が狭く家屋が連坦しているなど、機械除雪の効率が悪いところでは、消雪設備を整備するなどして、冬期間の快適で安全な交通を関係機関と調整して確保していきます。また、道路橋梁については、施設の延命化を図るため、長寿命化計画を策定し、計画的な対応を進めます。

【実施施策】

- ◇幹線道路の整備
- ◇生活道路の整備

【施策成果指標】



【整備延長／計画延長】
円滑で安全な道路網を確立するための指標として、国・県道および主要な市道の整備率 78%を目指します。

【整備延長／計画延長】
安全で安心して通行できる歩行者空間を確保するための指標として、歩道(段差解消)の整備率 29%を目指します。

【構成事務事業の達成ランクおよび方向性】

基本施策	構成事務事業の状況												
	実施施策	H24 ランク				H26 方向性							
		A	B	C	小計	事務改善	内容拡大	内容縮小	維持	終了	廃止 休止	統合	小計
円滑で安全な道路網を整備する	10	0	0	10	0	0	0	9	1	0	0	10	
幹線道路の整備	4	0	0	4	0	0	0	3	1	0	0	4	
生活道路の整備	6	0	0	6	0	0	0	6	0	0	0	6	

これまでの取り組み成果

都市の骨格となる幹線道路について、多様な観点からネットワークの見直しを行いました。また、身近な生活道路については、バリアフリー化や交差点改良、橋梁の修繕を積極的に推進した。

今後の課題

幹線道路のネットワークの見直しについて、地域住民との合意形成を諮りながら、都市計画の変更を進めるとともに、市民の暮らしの安全性と利便性を高める整備を継続して推進する必要がある。

今後の施策展開

今後も幹線道路の見直しの住民との合意形成や市民に身近な生活道路の歩道のバリアフリー化、交差点改良などの円滑で安全な道路網の整備促進を継続して行う。

【総合評価】

A 政策目標に向けて高いレベルで推移している。

B 政策目標に向けて概ね順調であるが、一部努力を要する。

C 政策目標に向けてあまり順調ではなく、一層の努力が必要である。

D 政策目標の達成には程遠く、全体的な努力が必要である。

〈H24 総合評価：A〉